

## 基本構想



# 第1章 基本理念・将来像

## 第1節 まちづくりの基本理念

本町では、これまで、「人間尊重・生活重視・環境調和・文化高揚・経済自立」を基本理念に、「人・物・文化など、地域の資源を活用する」「シンボル事業を中心に、町のイメージと“生活総合品質”を高める」「“まちづくり協働体”を創る」を「まちづくりの基本理念」としてまちづくりを進めてきました。

第4次上里町総合振興計画では、これらの基本理念やまちづくりの基本理念を継承し、新たな基本理念を「人と自然が共生するまちづくり」「やさしさと思いやりが共調するまちづくり」「歴史と知恵が共鳴するまちづくり」の3つとします。

この基本理念のもと、これまで築き上げたまちづくりの成果をさらに発展させ、かけがえのない自然が豊かに残る上里町を子どもたち、孫たちの世代へ受け継いでいくために、住民と行政が協働でまちづくりを進めていきます。

### 1 人と自然が共生するまちづくり

本町にとって自然の営みは、住民の日々の生活にとっても、また、農業にとっても重要であり、私たちを優しく包み込み、うるおいと安らぎを与えるかけがえのないものです。

恵まれた自然を後世に受け継いでいくために、住民生活や産業活動のあらゆる機会をとらえ、「人と自然が共生するまちづくり」に努めます。

### 2 やさしさと思いやりが共調するまちづくり

みんなで築きあげてきたやさしさと思いやりは、何ものにも代えがたい私たちの財産です。

今後も、お互いがお互いに関心を持ち合い、共に支えあい、いきいきと安心して暮らせる地域であり続けるために、すべての人々の個性が大切にされ人権が尊重される「やさしさと思いやりが共調するまちづくり」に努めます。

### 3 歴史と知恵が共鳴するまちづくり

私たちの先人たちはみな、幾多の困難を「知恵」で乗り越えてきました。その乗り越えた経験が歴史となっています。多様化、複雑化する行政課題を解決し、住みよいまちを後世に受け継いでいくために、経験としての歴史を活かしつつ、住民一人ひとりの「知恵」を結集させ、新たな文化の創造を進める「歴史と知恵が共鳴するまちづくり」に努めます。

## 第2節 将来像

本町は、都心部から85km圏の恵まれた立地にあり、清らかな水や肥沃な土壌など自然豊かな町です。近年は、児玉工業団地の開設以来、産業的發展を図りつつ、自然と調和したうるおいのあるまちを築いてきました。

21世紀を迎え、わが国全体が少子高齢化や環境問題、産業活性化などに多くの課題を抱える中、本町がこれからも住民の笑顔があふれ、みんなに愛されるまちになっていくためには、町の将来の姿（将来像）を思い描き、住民と行政が協働で、町の特性を伸ばし、課題を改善しながら、その目指す姿に近づいていくことが重要です。

〔まちの将来像〕

人と自然が響きあう “ハーモニーガーデン 上里”

本計画では、新しい上里町の将来像を「人と自然が響きあう “ハーモニーガーデン 上里”」と定めます。

この将来像は、豊かな自然の中で、日常生活の舞台である本町において、まちづくりの主役である私たち一人ひとりが、未来に夢を持ち、互いに支えあい、わかちあい、また、産業のさらなる活性化により新たな生活文化を創造し、人と自然がお互いの存在を尊重し、調和を図りながら発展していく、という意味を込めています。

本町では、第1次総合振興計画において将来像を「緑と太陽のある調和のとれた産業・住宅地域」とし、その後、第2次計画では「緑と太陽のある住みよい上里町」、第3次総合振興計画では「豊かで活力ある生活文化都市」(「ガーデンタウン・上里」)としてきました。第4次計画の将来像「人と自然が響きあう」と「ガーデン」は、これらの理念を継承し、さらに発展させていくためのものです。

また、「ハーモニー」は、本計画の3つの基本理念である、「人と自然が共生するまちづくり」、「やさしさと思いやりが共調するまちづくり」、「歴史と知恵が共鳴するまちづくり」を集約させたものです。

第4次計画では、この将来像の実現を目指し、住民と行政が力をあわせ取り組んでいきます。